



# Orange breeze

Vol. 2 Special Edition  
Foreign language education in Izumi city

昨年度は、台湾埔里鎮等の学校と出水市内の小・中学校オンラインでの授業交流を行い、英語を使って、試して、グローバルな人材育成を目指した授業が展開されました。また、イングリッシュスピーチコンテストには、台湾宏仁中の生徒がオンラインで参加しました。

今年度は、昨年オンラインでの交流が契機となって、台湾の学校から直接出水市の学校を訪問して授業体験、部活動などを行いたいと、生徒たちの気運が高まり、台湾の中道小中学校と大成国中学校の訪問団が来日し、対面での交流が実現しました。

## Foreign language education for Globalization in Izumi city 出水中学校と台湾大成國中との対面交流 (令和5年7月2日～7月7日)

7月2日(日)から7月7日(金)まで、台湾(大成国中学)の中学生12名が出水中学校と交流をしました。日曜日にホームステイをし、月曜日からは1人ずつ教室に入って一緒に授業を受けたり、竹灯籠づくりやスポーツを通じた交流をしたりして過ごしました。



ホームステイ受入家族との対面式



授業で考えや意見の交流



休み時間に楽しく交流(出水の魅力紹介)



ペアで竹灯籠づくりに挑戦

# Foreign language education for Globalization in Izumi city

## 上場小学校と台湾中道小中学校との対面 交流（令和5年7月3日）

7月3日、台湾の中道小学校が上場小学校へ来校し交流を行いました。一昨年からオンラインによる交流がスタートし、今年も2回のオンライン交流を経て、対面交流が実現しました。それぞれの学校の紹介や得意なことの発表の後、バスケットをしたり、メッセージボードを作製したりしました。給食も一緒に食べて親睦を深めました。



台湾児童とルービックキューブ大会



お別れセレモニー後の記念撮影

## 野田小学校と台湾中道小中学校との対面 交流（令和5年7月3日）

野田小学校では、5・6年生が台湾中道小中学校の児童と交流に行事参加しました。5校時に体育館で、お互い挨拶を行い、じゃんけんゲームなどのレクリエーション、プレゼント交換などを行い、対面での交流を楽しみました。



じゃんけんゲームで白熱

中道小13人は上場、野田両小を3日訪問。上場ではバスケットボールなどで親睦を深め給食も堪能。野田ではじゃんけんゲームを楽しみ、折り鶴を贈られた。野田小5年の加治屋いろはさんは「会えてうれしかった。オンライン交流がこれからも楽しみ」と笑顔。中道小4年スー・チュン・ユー君は「日本人は活発で明るい。出水は自然がきれいで給食もおいしかった」と喜んだ。（清水裕貴）

令和5年7月16日付け南日本新聞掲載記事より